



建設杭打ち
合図マン

恵比寿機工株式会社 | 涌井 聖太さん(26歳)

所属: 工事部

道のり: 川越市立城南中学校(埼玉県) ▶ 聖望学園高等学校(埼玉県) ▶
東京電機大学理工学部建築・都市環境学系

教えて! Q&A

- Q. どんな性格? A. 飽き性だから、ひとつのオフィスに通うよりも現場が次々と変わる今の仕事が面白い!
- Q. 「働く」ってどう? A. 夜勤もあり辛いと思うこともあるけれど、みんな仲が良いので楽しく続けています。
- Q. どんな人におすすめ? A. セメントを扱ったり、資材の移動をしたり…やっぱり体を動かすのが好きな人かな。

「合図マン」は 現場で働く人たちを守る命綱

見えなかった将来に差し込んだ光

家の隣に祖父と父が経営する工務店の作業所があって、いつもトントンカンカンという音を聞きながら育った私。高校には行かず大工になるんだろうなと思っていたのですが、父が「自分のイメージをゼロから形にできる建築士も面白いぞ」と勧めてくれて、進学を志しました。

大学では設計図を描くなど建築の基礎を学んでいましたが、友達と遊ぶのが楽しくなってしまう…母が心配していることを知りつつも、1年間で退学しアルバイト生活を送っていました。

アルバイトを始めて3年半。「自立してしっかり生きていこう」と、就職を決意した時に出会ったのが恵比寿機工。バイト仲間のお父さんが、実はこの会社の社長だったんです。「働きたい」という私の気持ちを受け止め温かく迎え入れてくれたことが、大きな転機となりました。

目には見えない、縁の下の力持ち

恵比寿機工は建物や歩道橋などの基礎となる「杭」を、杭打機や油圧ショベル、移動式クレーンなどの重機を駆使して地中に打ち込む工事を担う会社。今担当しているのは、西武線の線路を地下化するための基礎工事です。現在ある踏切の下に線路をつくるので、工事の最中に地下水が流入したり土砂崩れが起きないように、セメントミルクを入れた穴に杭を打って土留めするんです。人々の生活を安全に便利にする工事を支える、なくてはならない大事な仕事だと自負しています。



安全・安心を確実なものとするために

私は、大型重機の手前5mほどの場所から、操縦しているオペレーターに指示を出す「合図マン」という役目です。

現場に入ったら、まずは今日の作業の流れ、重機の配置、危険箇所を確認し、打ち合わせを行います。頭のなかで動きをイメージし、合図のタイミングを想定しておくことが一番大事。刻々と状況が変わる現場で終電から始発までの限られた時間のなかで作業を進めるために、迅速な判断と適切な行動が求められるんです。

削孔^{くわうこう}が始まったら、大きな音と重機の動きに神経を研ぎ澄まし、オペレーターが見えないところはないか、どんな情報を求めているかを考え、無線機を使って言葉と身振りで伝えます。「もう少し」とか「近すぎる」とかではなく、「あと50cmぐらい」など、具体的に伝えるのが事故を防ぐコツ。普段から社内で仲間と

※コンクリートなどの地面に、杭を打つための円筒状の穴をあけること。

ワンアンドオンリーな会社、恵比寿機工の未来への挑戦！

きりく 軌陸クローラークレーン

狭い場所や頭上の空間に制限がある場所、線路内など特殊な環境での工事が得意。

この春、新たなオリジナル重機が仲間入りしました！



前側



後ろ側

杭や資材など重くて人力では運べないものを吊り上げて移動させるクレーン。他のクレーンと違い、軌陸装置付きなので線路の上を走行できる特別な1台です。

自社工場で重機の整備も
行っています。機械好きには
たまらない環境です！



コミュニケーションがしっかりとれていることも、工事を円滑に進める重要なポイントですね。

頑張りはず、実を結ぶ

今の現場で扱っているのは、強度の高い「H鋼」という鋼材の杭。その長さは15mにも及びます。危険と隣り合わせの仕事だけに、やることをやっていたときは当然叱られますし、1年目でも「働いている限り、指示待ちをしては

ダメ」と教えられました。

入社するとまず「手元」という見習い作業。地面を掘削した時にスクリーにつく泥をキレイに取り除く泥落としや、次の工程のための資材の移動など、現場はめまぐるしく動きます。最初は追いつけませんでした。そのうちに段取りが見えてきて、「次はどうしようか」と考え準備ができるようになりましたね。

先日、自分が合図マンを担当した渋谷の歩道橋を歩いてみました。あの杭の上

にこんな立派な歩道橋ができたのかと、とても誇らしい気持ちになりましたね。今は私も社会人として自立でき、母も少しは安心して考えていると思います！



私が大事にしているコトバ

功は人に譲れ

中学の野球部では捕手で、「いくら自分のリードが良くても褒められるのは投手ばかり」とよくぶつかっていました。でもこの言葉を知って、自分は投手をサポートする役目、どちらも同じように活躍しているんだと思い直したんです。今の仕事も、まさに支える側。捕手と同じ視点で現場全体を見えています。地上の建造物を地下で支える「杭」も、捕手のような存在なのかもしれませんね。

会社概要

EBs 恵比寿機工株式会社

会社名：恵比寿機工株式会社
住所：横浜市旭区上白根町1107番地7
TEL：045-459-5820

事業概要：杭打ち・杭抜き等、土木・建築の各種基礎工事。上空制限のある場所や鉄道の軌道内など特殊な現場に特化し、業界内でワンアンドオンリーな地位を築いています。



浦井さんは杭打ち工事の現場で、「身振り手振りで伝える」「具体的に伝える」ことを意識していると教えてくれました。あなたは普段、人とのコミュニケーションで意識していること・気をつけていることはありますか？